

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	55	—	事業名	保健事業	担当部課	福祉部 保険医療課
------	----	---	-----	------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	12	生活習慣病を予防する保健サービスを充実する			
		施策の進め方	1	健診・保健指導の充実			
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 国民健康保険の保険者として、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けて、保健事業を実施する。 健康教室・特定健康診査・特定保健指導・医療費通知・後発医薬品差額通知					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(国民健康保険加入者)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 保健事業を通して、市民の健康づくりへの関心を高めて「行動変容」を促し、健康長寿なまちを実現する。					
	事業を構成する事務事業	① 保健衛生普及事業	改善・見直し	④			
	② 特定健康診査事業	改善・見直し	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	41,888
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	10,689
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	52,577

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 特定健診受診率		%	目標	65.0	50.0	52.5	55.0
実績				48.1	49.0	52.3	50.6	
B 特定保健指導終了率		%	目標	45.0	25.0	30.0	35.0	
			実績	33.1	26.7	31.3	実施中	
C			目標					
			実績					

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 特定健診の受診率を高めることで、生活習慣病の予防及び早期発見を促し、糖尿病などの重症化を防ぐ。

B 生活習慣病のリスクの高い人を対象として特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を促し、重症化を防ぐ。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 県内の市町村でも同様に実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 特定健診受診率については、目標値は達成できなかったものの、県内でも比較的高い水準にある。特定保健指導については、平成27年度分は平成28年9月まで実施中。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 特定健診受診率については、年代ごとに差があり、特に40～50代の受診率が低いので、年代別にアプローチ方法を変える。特定保健指導と健康教室が連動していないため、改善効果がわからない。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 健康課題は、1人1人異なるので、保健事業として、地域別、世代別、健康リスク別にアプローチして、健康づくりにかかる制約をクリアし、健康づくりに取り組みやすい環境を整える。そのことにより健康への関心を高めて「行動変容」を促し、健康長寿なまちの実現を目指す。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

					事業名	保健事業					
番号	①	事務事業名	保健衛生普及事業								

1. 事務事業の目的

対象 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	国保加入者に対して、保健事業を実施。 ・健康教室：10回連続講座×2回 全20回実施 ・特定保健指導対象者向け 1回実施 ・医療費通知：年6回、後発医薬品差額通知：年3回 ・まちの保健師活動の実施（週1回）
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	保健事業を通して、健康に対する意識を高めて、健康増進、医療費の適正化につなげる

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				4,614
		決算				4,216

3. 活動推移

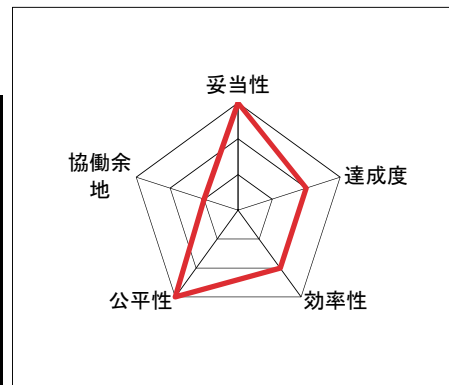
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
健康教室参加者数	人	目標			100	160	
		実績			92	148	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
国保加入者の健康課題に合わせた保健事業が必要

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し
--------

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
健康課題に合わせた保健事業を展開する。
【地域別アプローチ】元気高齢者を対象とする健康教室の市民運営・地域展開を進めていくために、教室参加者から、運営の担い手を発掘する。
【健康リスク別アプローチ】健康リスクの高い人向けの事業を専門家や大学、事業者との連携・協働により進めていく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

					事業名	保健事業					
番号	②	事務事業名	特定健康診査事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 国保加入者に対して、特定健診、特定保健指導を実施。 特定健康診査 集団検診：22日間 個別健診：15医療機関 特定保健指導 保健師・栄養士による生活改善指導
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生活習慣病の予防及び重症化防止する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				41,725
		決算				37,672

3. 活動推移

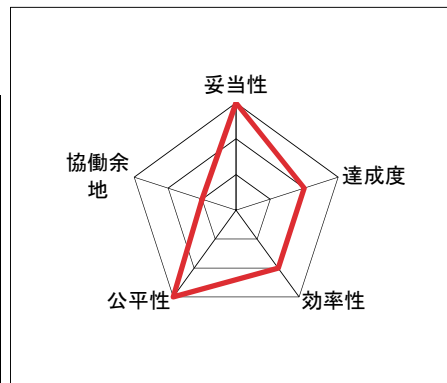
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
健診受診者数	人	目標	4,098	3,210	3,444	3,963	
		実績	3,035	3,144	3,429	3,648	
保健指導利用者数	人	目標	164	92	119	143	
		実績	150	110	145	115	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
------------------------

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し
--------

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  特定健診受診率の向上のため、年代ごとの受診率の状況(未受診理由等)を把握し、年代別にアプローチする。  特定保健指導については、個別指導と集団指導(健康教室)を組み合わせ、健康リスク別に応じたアプローチする。
--